

冬季北京オリンピックが開催されてますが・・・

「イチローが嫌いだ。

あの人を見ていると限界という言葉が言い訳みたいに聞こえるから。」

「イチローが嫌いだ。

あの人を見ていると自分に嘘をつけなくなるから。」

「イチローが嫌いだ。

あの人を見ていると努力すら楽しまなきゃいけない気がするから。」

「イチローが嫌いだ。

あの人を見ているとどんな逆風もチャンスに見えてくるから。」

「でも、同じ人間のはずだ。」

**私学入試終わりました！結果がでるまで
今日も突然ですが読んでくれば、うれしい通信です。**
進路選択と戦っている君に、こころの栄養として・・・CMシリーズ4

◆上記のCM覚えてる？ リオオリンピック（2016年）の時によく流れていたトヨタCMで「イチローは嫌いだ」というのがあった。上記のセリフは、イチローを良く思わない人間が、イチロー選手に対し文句を言っている訳ではなく、トヨタ自動車が東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた「WHAT WOWS YOU.」というプロジェクトを展開するにあたり放送していたCMのセリフ。

WHAT WOWS YOU?（あなたをワーといわせるものは何?）

WOW【動詞】：誰かを興奮させる、とか、感激させるの意味。

つまり、イチローは、あなたをワーと思わせる存在なんだ・・・

◆長年メジャーリーグの舞台で活躍し続けるイチロー選手に対し**尊敬の意味を込めて**、
リオオリンピック棒高跳び日本代表の「山本聖途選手」
リオパラリンピック水泳日本代表の「一ノ瀬メイ選手」
陸上走り幅跳び代表の「芦田創選手」
車いすテニス代表の「三木拓也選手」
の4名がイチロー選手への思いを「イチローが嫌いだ。」というセリフで表現している。

◆しかし、「強靱な肉体と精神をもった上記の人たち」のことを僕は「同じ人間のはずだ」とは思えない。逆に「すぐに心が折れて、何が悪い!」と逆切れしそうだ（笑）
小さいころから「もやしっ子、しんちゃん（僕：高木のこと）」と呼ばれ、体は弱かった。
まあ、お陰で少し絵が上手くなったけど・・・
運動部員は分かるよね、肉体的に精神的に自分を追い込むのはつらく、練習はウソをつかないことを・・・

◆以前にも紹介したけど

**さびしいときにそのひとを思えば慰められる、そんな友はほしくない。
怠けるときにそのひとを思えばムチうたれる、そんな友がほしい。
友のために、私もそういうものでありたい。**

むの たけじ

◆イチローは、アスリートたちにとって、そんな存在になっている。怠けるときにイチローを思えば、ムチ打たれる。何事においても、自分を高めるのはしんどい、逆に自分のレベルを下げることは簡単だ。毎日の少しずつの「質と量の差」（学習だけではない）が、君自身の未来の可能性を変えていくのだ。
まあ、一概には言えないが、可能性は少ないより、多いほうがいいとは思わない?

◆僕も、昨年10月30日に淀川ロケットマラソンハーフを走り、どうにか2時間を切りました。（No114号にも記しましたが・・・）
しかし、年末年始、実業団駅伝、箱根大学駅伝などに感化されて、調子に乗りすぎオーバーワーク！左ひざを痛めてしまいました。

◆その後、トレーニングできないまま1月30日の大阪ハーフに「はじめから棄権するより途中棄権する方が納得がいくなあ」と思ってチャレンジ。しかし案の定、ゴール手前で、足が痙攣（けいれん）し、20キロの検問でタイムオーバー、完走すらできませんでした。

◆一流アスリートには足元にもおよばないが、今後もハーフマラソンにチャレンジしたいと思っている。心は一流的に弱いのですが・・・

◆次の目標は65歳まで2時間6分切り！出来れば、2時間切り！でもこの目標は、かなりハードルが高くなってきているなあ（笑）足の筋力を鍛えなければああああ

さあ次は特別選抜・一般選抜！頑張れ夢追い人達！
継続は力なり